



# どじょうのささやき

今月の特集

1 地震について

2 シックハウス

2002年

10月号



地震に強い家を建てよう！



# 備えあれば憂い無し！！



## 廃虚の市民 立ちつくす



阪神・淡路大震災では、約24万戸に被害がおよびました。

鳥取西地震の被害は、3000戸以上にもおよびました。

### 主な地震による被害

年	名称	特徴	罹災全数	半壊	全失
1923年	関東大震災	マグニチュード7.9	254,000戸		
1944年	東南海地震	マグニチュード7.9	57,248戸		
1964年	新潟地震	マグニチュード7.5	8,600戸		
1968年	十勝沖地震	マグニチュード7.9	3,677戸		
1978年	宮城沖地震	マグニチュード7.4	6,757戸		
1983年	日本海中部地震	マグニチュード7.7	7,997戸		
1994年	三陸はるか沖地震	マグニチュード7.5	501戸		
1995年	阪神・淡路大震災	マグニチュード7.2	240,000戸		
2000年	鳥取西地震	マグニチュード7.3	3,473戸		
2001年	雲予地震	マグニチュード6.4	25,513戸		

地震はいつくるか分かりませんが、ひとたび起こると大きな災害をもたらしています。私たちの命を守る上でも、建物の地震対策は重要です。丸永建設では、新築の建物を計画するときに、構造カルテを作成し、施主様にお渡ししています。これは、設計した建物ごとに、建物の重心、壁の量や配置を計算しているものです。出来上がってしまっても分からない、建物の構造をカルテにしておりますので、安心して生活が出来ます。



## 構造カルテとは？

地震が起ると...

壁がたわんだり、割れたり...  
窓が割れたり...  
柱が折れたり...  
柱が引抜かれたり...  
柱が折れたり...

そうならないためには？

構造カルテはどう安心？

1. 阪神・淡路大震災や東戸台風クラスの外力に対し、個別に構造強度をチェック。
2. 構造チェックはコンピュータにより厳格に実施。信頼性は抜群です。
3. 強度診断により、過剰な耐震対策が回避でき、適正な建築コストを実現。

① 壁量チェック

② 偏心率チェック

③ 梁せいチェック

④ 柱の座面、土台・梁へのめり込みチェック

⑤ 柱の引抜きチェック

建物の地震対策で重要なのは、構造部分の接合部の強度です。柱や梁を頑丈なものにしても、そのつなぎ目が弱ければ、建物全体の強度が心配です。

そこで丸永建設の家では、右の図のように、多くの耐震金物を使用しています。備えあれば憂い無し。生命を守る建物の地震対策は、これで万全です。

建築途中の現場があれば、足を止めて見学してみてください。金物の量は、構造に詳しくなくても、一目で分かります。

約2300点もの耐震・耐風金物

●耐震・耐風金物だけで約2300点。その他も合わせると約30000点。躯体接合部の強度を高めています。※延床面積約40坪の場合

約1棟分の金物類

- たき木
- 通し柱
- 内引き釘金物
- 外付け梁受け金物
- 外付け梁受けボルト
- 外付け梁受け金物
- 釘止め短く金物
- 新築品釘金物
- ボルト締め短く金物
- ホルダウリ金物
- ホルダウリ金物
- コーナプレート
- スリムプレート
- 土台
- ニュー耐震金具
- 角造
- 方形アンカーボルト
- 筋違

# あなたのお宅は大丈夫？「シックハウス症候群」



新築・改築後の住宅やビルにおいて、化学物質による室内空気汚染などがおこり、居住者の様々な体調不良が生じている状態をシックハウス症候群と呼ばれています。

しかしこれは、建物の材料だけでなく、家具やカーテン等の室内に置いてあるものからも、ホルムアルデヒド等の発生が確認されています。



ホルムアルデヒド濃度を測定します！

丸永建設では、ホルムアルデヒド対策物質「セルフィール」の施工代理店となっております。無料でホルムアルデヒド濃度測定サービスを行っておりますので、お気軽にお問合せください！

今月のイベントのお知らせ

◆ 完成現場見学会を行います

■ 10月26日(土)～30日(水)

安来市黒井田町 永井邸

■ 10月5日(土)～7日(月)

能義郡伯太町 細田邸

※詳しい場所の案内は下記の連絡先までお問い合わせ下さい



メモ

## 丸永建設株式会社

本社/〒692-0023

安来市黒井田町1895番地3

TEL (0854) 22-2478

FAX (0854) 23-2348

米子営業所/〒683-0836

米子市花園町126番地1

TEL (0859) 33-3847

E-mail: marunaga@crocus.ocn.ne.jp

担当